

**腎臓病の診断、治療のため受診中あるいは受診経験のある
患者さんまたはご家族の方へ
臨床研究に対するご協力をお願い**

愛媛県立中央病院では、上記の病気で受診された方の検体や診療情報(カルテ情報)を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。

本研究への協力を望まれない場合、研究についての詳しい情報を希望される場合などは、その旨、以下の「問い合わせ先」までご連絡をお願いします。本研究への協力を望まれない旨のご連絡を頂いた場合は研究対象からは除外させていただきますので、検体や診療情報は利用されず、また他の研究機関への提供も行いません。

【研究課題名】 腎臓病新規治療薬と既存治療薬における薬効、医療費、有害事象の比較研究

【研究の目的】

自己免疫、代謝内分泌、遺伝子異常等を原因として様々な腎臓病が発症します。これらの腎臓病の研究をもとに、様々な薬剤が新たに開発され、腎臓病治療に使用されています。

しかし、新しく開発された薬剤のなかには値段が高額で、長期間の使用することで医療費が増大してしまう薬剤もあります。そのため、新しく開発された薬剤とこれまで使用されてきた治療薬において新規治療薬の効能、薬剤費等を比較検討することで適切な投与方法を検討することを目的としています。

【対象となる方】

2018年1月1日から2024年12月31日当院腎臓内科で腎臓病に対して内服加療をうけた患者さん

【使用する検体・診療情報】

カルテ情報：年齢、性別、身体所見、検査結果[血尿、蛋白尿(g/gCr)、尿中 β 2ミクログロブリン、尿中L-FABP、血清クレアチニン、CRP、ヘモグロビン、Na、K、Ca、P、画像検査等]、薬剤の種類と投与量、薬剤費、入院日数・費用、合併症、疾患再燃の有無等

【研究期間】 臨床研究審査委員会承認日から2025年3月31日

【個人情報の取扱い】

使用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

愛媛県立中央病院 腎臓内科 主任部長 村上 太一

【問い合わせ先】

松山市春日町 83 番地

愛媛県立中央病院 腎臓内科 主任部長 村上 太一 電話 089-947-1111 FAX 089-943-4136